

保護手袋着用



商品を取り出すとき、施工するとき  
は、切断面に触れると手を切る恐れ  
がありますので注意してください。

ハウスプラス確認検査性能試験済  
HP13-KT133

■使用上のご注意

TN-フレックスの使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。  
TN-フレックスは指定の用途以外には使用しないでください。  
締めつけ過ぎないでください。座金の爪が材木に接したら締めつけをとめてください。  
ゴムの部分が偏らないように締めつけは垂直に行ってください。

使用箇所・用途

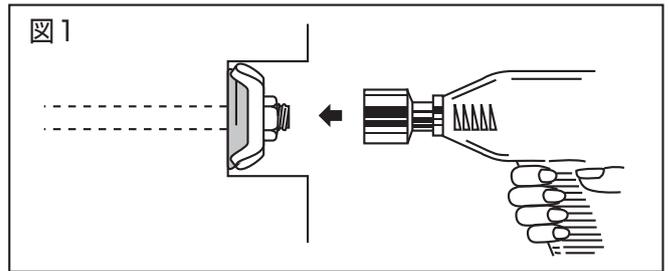
羽子板ボルト、アンカーボルト、その他のボルト締め付け部分に使用します。

使用工具

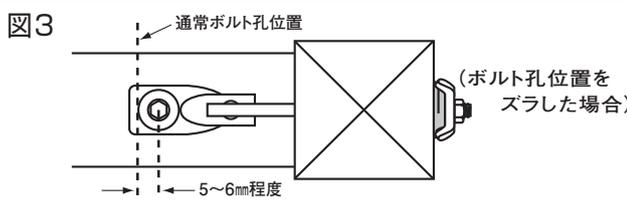
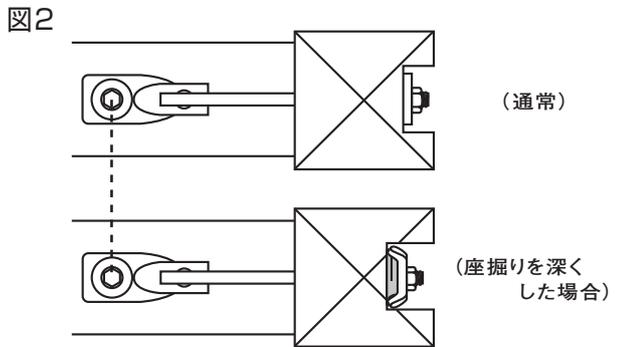
電動インパクトレンチの使用をお勧めします。  
一気に締め付け、ゴムの広がりを抑えることにより、効果をより発揮します。

施工方法

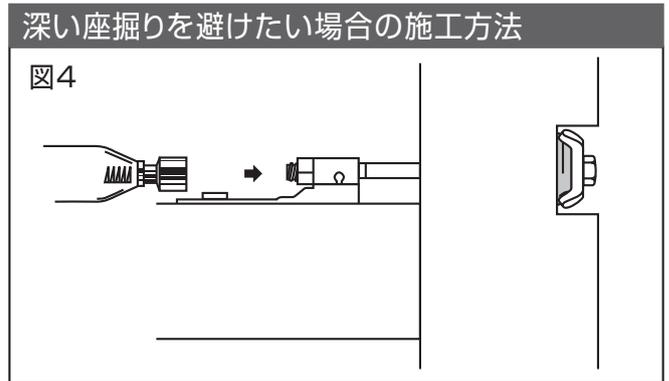
図1のようにインパクトレンチで座金の爪が材木に接する  
まで締め付けてください。



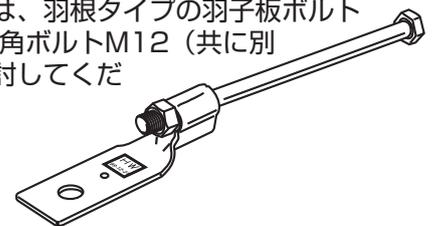
座掘りを深くするか、またはボルト孔位置をズラして施工



丸座金とゴム（12mm厚）が合体しているため一般の座掘りよりも深く座掘り加工してください。（図2）  
座掘りしない箇所については、羽子板ボルトのボルト孔の位置を柱側にズラして施工してください。（図3）



座掘りを深くすることで材の断面が不足する心配があると判断した場合は、羽根タイプの羽子板ボルト「W羽根-II」と六角ボルトM12（共に別売品）の使用を検討してください。（図4）



接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 タナカ

（連絡先）CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313  
（受付時間）平日 9:00-17:00  
<https://www.tanakanet.co.jp/housing>